

評価・改善部会議事要旨

開催日時；平成 28 年 12 月 3 日（土） 13：30～17：45

開催場所；秋田大学医学部附属病院 大会議室

出席者；別紙名簿のとおり

◎開会、部会長挨拶

開催にあたり、本山部会長より本部会の成り立ちと役割について説明があった。

◎協議事項

（1）活動目標について

本山部会長より、本部会の使命と活動目標について説明があった。これに対し、意見を求めたところ、各施設において持ち帰りのうえ 2 週間後程度までにメール等によりお知らせ頂くこととなった。

（2）施設別診療実績の公表について

2014 年データに関しては秋田県がん診療連携協議会（以下、協議会）の承認により公表したが、2015 年データの公表についても提案があり、2014 年と 2015 年のデータを協議会ホームページに掲載することについて了承された。

5 大がん施設別部位別相対生存率の公表については、現在国立がん研究センター（以下、国がん）において未公表のため、協議会では準備済であるがまだ公表していない。国がん で公表した場合は速やかに協議会でも公表することの説明があった。

（3）Quality Indicator 研究について

Quality Indicator 研究は、協議会の全ての施設が参加し、施設間の客観的な評価ツールとしたいので、未参加の 4 施設については是非参加して頂くように依頼があった。また、この研究の利点（解析の負担が少ない）及び欠点（信頼性に疑問が残る）の説明があった。

（4）2011-2015 年秋田県院内がん登録解析結果について

院内がん登録 2015 年データの解析について、協議会所属 12 施設の解析であるが、データの整合性から 11 施設の解析結果を掲載していることの説明があった。また、年次推移・部位別推移・治療法（内視鏡・体腔鏡手術）について、秋田県受託研究により解析を行い、情報を共有し、対策を練ることが可能となっていることの説明があった。

（5）今後のスケジュールについて

本部会の次回開催予定は、平成 29 年 2 月開催予定の協議会と同日に平成 28 年度第 4 回 評価・改善部会を開催する予定であることの説明があった。また、平成 29 年度第 1 回評価・改善部会は、県南地区を代表して平鹿総合病院における開催が提案され承認された。

◎秋田県がん診療の課題に対する協議会構成施設の先進的な取り組みの紹介

○大曲厚生医療センター大村範幸先生より「大腸 CT 検査」についてご講演を頂いた。

大腸 CT 検査は、1994 年に報告されているが、日本では 2010 年に臨床が開始され、大曲厚生医療センターでは 2012 年に導入していて、主に手術前の検査を消化器外科医が読影を行っているとの発表であった。検査方法は前処置後に CT 撮影を行い撮影後にワークステーションから 3 次元画像を構築し読影を行うものであるが、欧米ではかなり進んでいて、オランダでは腫瘍性病変の検出率は、受診率が低い大腸内視鏡検査よりも受診率が高い大腸 CT 検査の方が上回るとの報告があり、日本でも新たな指針に大腸 CT が記載されており今後普及が見込まれるとの内容であった。

○市立秋田総合病院、佐藤勤先生より「膵臓がん診療」についてご講演頂いた。

膵臓がんは 5 年生存率 10%程度であり、病院受診後 60%以上が半年以内に死亡するデータがある。膵臓がんには局所進行タイプと、遠隔転移タイプがあり、その頻度は 7 : 3 の割合で遠隔転移タイプの方が多い。遠隔転移タイプは進行が速く診療方法は化学療法のみであり生存率の落ち込みは遠隔転移タイプによるものが大きい。局所進行タイプは切除可能な場合があるが、血管を取込んで進行することが多く、術者の血管切除・再建の経験に左右されることもあるとの内容であった。

この発表に対し、診療実績の公表による可視化と、地域医療構想の討議により、部位別診療の分散・集中等の政策シナリオが見えて来るのではないかとの意見があった。

◎講演

国際医療福祉大学大学院教授、埴岡健一先生より「秋田県のがん対策を共に吟味しよう～目標の達成と、よりよい 3 次計画のために～」と題してご講演頂いた。

始めに埴岡先生から各参加者へ質問があり、参加者一人ひとりが現在の状況についての悩み・アイデア等について回答し、それぞれの回答に対して埴岡先生よりコメントがあった。更に、埴岡先生より、多くの問題は、現状を知り、可視化されたデータをヒントとして、議論することが大切であるとの説明があった。

中には、健康診断の普及のように、他のモデルにおいて既にエビデンスがあり、実行すれば可能になるものがあるとの発言があった。

また、ロジックモデルシートによる検討がコミュニケーションツールとなることから、ワークショップのような形で、秋田県がん対策推進計画の抜粋からロジックモデルシートを作成する演習も行われた。

以上により、平成 28 年度第 3 回評価・改善部会が終了した。